

新春対談

みんなが主役!チャレンジ応援ふくい

福井県ではワクワクドキドキの「もっとおもしろい福井」を実現するため、若者をはじめとする県民一人ひとりのチャレンジを応援しています。昨年9月には慶応義塾大学SFC研究所と連携し、新しい活動に取り組む若者を育成するため、実験的な仮想大学「エキセントリック・カレッジふくい」を開校しました。令和5年の新春を迎え、杉本知事と、「エキセントリック・カレッジふくい」に講師、受講生として参加するお二人が、自身のチャレンジについて、そして県民のチャレンジ応援や地域の魅力発信について語り合いました。

チャレンジ応援について

今回のテーマはチャレンジ応援ですが、今年チャレンジしてみたいことはありませんか。

高橋 冒頭から突拍子もないことを言いますが、ドバイに行ってみたくて。実はドバイの王様が身に着けている布が日本製なんです。福井の生地を持って行って何かできないかな、ということをやってみようと思います。

霧田 個人的なことですが、子どもが生まれたので、1年間ずっと映像を撮りためて、作品を作りたいです。

知事 お二人のように夢のある話を聞いていると、気持ちも明るくなるし、ぜひ応援したいですね。



県では若者のチャレンジ応援のため、昨年、仮想大学を設置しましたね。

知事 「エキセントリック・カレッジふくい」といい、ゲストのお二人も講師、受講生として参加しています。

昨年9月に開校し、月3回程度、講義や合宿を行い、講師の話や聞き取り受講者同士で話し合い、お互いに刺激を受けていくような場になります。

高橋 カレッジの講義では、私自身の人生についてや普通ということや普通には思わないことについて話しました。受講生の方にとっても、そういったことを話し受け入れてもらえる素敵な場所だと思いました。

霧田 カレッジという名前ですが、学校のようなものではなく、学ぶというよりは参加者が集まって話し合うというような場で、地元こんな体験ができる場はなかなかないと思います。



「エキセントリック・カレッジふくい」第1回講義の様子(令和4年9月)

知事 カレッジのコンセプトは「奇抜を助長し、異端をみんなが楽しみあう」。奇抜や異端は、その時は奇異に感じますが、そこから時代が始まっていくと思います。カレッジでは何か結論を出す必要はないです。



モデル・女優 高橋愛さん
坂井市出身。アイドルグループ「モーニング娘。」第6代リーダーとして活躍。「モーニング娘。」卒業後はモデル・女優として活躍

要は楽しく、楽しみながらお互いに触発し合っている状態です。そういった新しい展開になった時、さらに応援するのが県の仕事だと思います。

県では、ほかにも県民のチャレンジ応援に取り組んでいます。が、どのような思いで行っていますか。

知事 福井県民はどちらかというと、引っ込み思案とか真面目とか言われます。しかし私は、みなさん、実は楽観的だったり新しい物好きだったり、起業家へのチャレンジ精神にもあふれていると思っています。そこを少し後押しすれば、みんなどんどんチャレンジしていくようになると思っています。

また、Uターン者の起業支援や高齢者が社会でチャレンジするための支援も行っていきたいと思っています。

霧田 私の親も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていいという環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。

自らの可能性に挑戦する子どもの育成環境について

高橋 もともとは宝塚を目指していましたが、1歳しか変わらないメンバーが「モーニング娘。」に加入したことを知って、自分にもチャンスがあるかもしれないと思ってオーディションを受けました。やる前から諦めるのは嫌な性格なので、受ける時には、怖いとかマイナスのことは考えていなかったと思います。



(株)Aithra 代表取締役 霧田一登さん
敦賀市出身。会社員を辞め、県外から地元に戻りUターン。友人とともにユーチューバー・映像制作チームとして活動

自らのチャレンジできる人となるためには、子ども時代の環境も重要だと思います。こうした環境を充実させるために、どういったことが必要だと思いますか。

知事 やはり、親、兄弟、地域、学校など、周りの理解が重要だと思います。福井県はこれまでも学力・体力トップクラスとなる教育を実施してきましたが、今はさらに興味・関心をもって学びを楽しむことや個性を育てることを中心に置きながら、取り組みを進めています。

成功体験はもちろん重要ですが、失敗体験もとても大切で、失敗してもチャレンジしたことをほめてあげることが、次のチャレンジにつながり、子どもが自信を持てるようになると思います。

霧田 私の親も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていい環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。

霧田 私自身も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていい環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。

霧田 私自身も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていい環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。

霧田 私自身も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていい環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。



福井県知事 杉本 達治

福井の魅力発信について
一昨年は北陸新幹線が敦賀まで開業します。高橋さんは「ふくいブランド大使」に就任して、ますます多くの人が福井に来てもらうため、どんなところをPRしたいですか。

高橋 まず、空気や水、お米、日本酒もおいしいですね。そして、一番の魅力は人が良いところですね。福井に帰ってきた時に、「愛ちゃんおかえり」と言ってくれるんです。こうした福井の人の温かさやアピールしたいと思っています。

福井の魅力発信のために、Aithraが制作した「あなたはまだ本当の福井県を知らない」- THIS IS REAL FUKUI - は「第3回日本国際観光映像祭」で最優秀空撮賞を受賞されましたね。

霧田 タイトルの「あなた」には自分自身も入っていて、自分が福井県をよく知らないことに驚かされたのが作ったきっかけです。一度県外に出たことで、改めて福井県が好きだと気付いて、良さをPRしたいと思う、日本を回ってもここしかないという絶景を集めました。

高橋 元々洋服づくりは好きでしたが、ブランドを立ち上げようとは思っていませんでした。ある時チャレンジしてみようという気持ちになつてやらせていただきました。実際に福井の工場や職人さんが生地を作っている姿を見ることができて、ブランドを持ってよかったと思います。

知事 福井県は社長輩出率が日本一ということから、県民のみならずのチャレンジ精神は低くなく、新しいことを始めたいという思いを持っていると思います。

霧田 私自身も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていい環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。

霧田 私自身も失敗することを止める人ではありませんでした。失敗しないように道を整えてくれる方もいますが、失敗していいという環境も、もっとならなくていい環境も、もっとならなくていい環境にならなくていいと思います。

知事 福井には人の優しい温かさや素晴らしい景色など、全国に自慢できる「本物」があると思っています。それを、みなさんに刺さるようなやり方でPRしていきたいと思っています。



「あなたはまた本当の福井県を知らない」 | THIS IS REAL FUKUI.

県民へのメッセージ

お二人の今後の抱負、そして県民のみなさんへのメッセージをお願いします。

高橋 福井県にはチャレンジしやすい環境が整っていると思います。もし、少しでも、何か大きいことでも小さいことでもやってみてほしいです。一歩を踏み出してほしいです。本当にやってみないとわからないです。私も応援しています。

霧田 福井県にはチャレンジを応援してくれる人がたくさんいます。私もそういった人の優しさがなかったらこの場になかったと思います。怖くて歩目を踏み出せない人が多いと思いますが、思い切ってみると二歩目三歩目が怖くないと感じると思います。

最後に知事の抱負をお願いします。

知事 お二人のチャレンジは、あとに続く後輩に元気を与えてくれます。素晴らしい生き方をされていると思いますし、やはり、チャレンジすることは大事なんだと思います。これで良いのか、と悩む時もあると思いますが、そんな時でも周りが一緒になってチャレンジできるような環境を作っていくことが大事だと思います。

これから北陸新幹線福井・敦賀開業、中部縦貫自動車道の県内全線開通により、様々な可能性が広がります。これからの、若い方、アクティブシニアと呼ばれる世代、女性などの活躍を応援できるような環境づくりをしていきたいと思います。

この新春知事対談は、FBCホームページから視聴できます。福井テレビで放送された新春知事対談は福井テレビホームページから視聴できます。【テーマ】 都会が嫉妬する!幸福度・子育てで日本一のふくい 【ゲスト】 館直宏(NPO法人おつとふあーざー 代表理事) 笠原理紗(福井に住む県外女子チームZUK 代表)

視聴者の中から抽選でプレゼントを進呈!